

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。  
 ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載  
 ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載  
 ※3 4回線送電線(4バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し3回線(3バンク)分の容量を記載
- (2) 送電線の空容量は、同一送電線においても連系点によって異なる場合があるなど、連系点が定まらない状況で正確な空容量を算定することはできません。このため、本表における空容量の数値は目安であり、ご希望の連系点によっては、空容量が増減する可能性があるため、送電系統への接続を希望される場合には、接続検討をお申込みいただき、その検討の中で連系点に応じた空容量を精査した上で、必要な対策を回答いたします。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。  
 #1 基幹系ループ系統のため  
 #2 1回線送電線のため  
 #3 1バンク変電所(分割運用等含む)のため  
 #4 配電用変電所のため(高压電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)  
 #5 安定度制約のため(制約が確認できているもの)  
 #6 2回線送電線の分割運用等のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系等考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討を行い必要な対策を回答します。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高压系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。なお、連系先が3年以内に増強した設備の場合、今後増強予定の場合、または、電源接続案件募集プロセスが現在進行中のエリアや、フェンス管理している送電線については、運用容量、空容量、またはN-1電制適用可否・N-1電制適用可能量について別途検討が必要等の理由により、備考欄に「●」を記載しております。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」適用後の空容量です。
- (11) 空容量は主に送電線や変圧器容量に基づき算定しており、変電所構内機器の制約などは考慮していません。このため、連系にあたり変電所構内機器の取替が必要となる場合があります。
- (12) 会社間連系または他エリアとの接しよう送電線・変圧器であり電源の接続に関して別途協議が必要な設備については、備考欄に「◆」を記載しております。
- (13) 進行中の電源接続案件募集プロセスの状況によって、空き容量を見直す場合があります。
- (14) 離島については、系統規模が小さいことから、系統連系に係る申込みは個別に検討、協議させていただきます。
- (15) 暫定的な系統容量の確保は、不備のない契約申込み書類を受付けた日となりますが、公表している空容量は契約申込みの書類不備解消を確認してから算定しております。このため、空容量以下の容量の系統連系を希望される場合であっても、上位系統の送電設備の増強工事が必要となる場合があります。増強工事内容については、接続検討にて検討を行い回答いたします。
- (16) 配電用変圧器等の設備容量、運用容量値は、変圧器本体の値を記載しております。また、配電用変圧器等の空容量は、変圧器が複数台ある場合は各変圧器のうち最小値を記載しております。
- (17) ノンファーム型接続欄には、対象設備にノンファーム型接続を適用した場合、「適用」と記載しております。
- (18) ノンファーム適用系統欄のうち、当該設備欄は、その設備がノンファーム型接続の起因設備である場合、「対象」と記載しております。  
 また、上位系のノンファーム設備欄には、ノンファーム型接続の起因となる上位系の設備番号(送電線No、変電所No、フェンスNo)を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
211A	二戸線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
211B	岩手福岡支線	66	2	94	52	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
212A	一戸線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
212B	212B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
212C	葛巻線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
212D	御所野縄文支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
221A	太田線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
221B	西通支線	66	2	153	90	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
221C	盛岡中央線	66	2	88	57	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
221D	中央A支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
221E	221E線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
221F	221F線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
221G	221G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
221H	中央B支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
221J	東長線(東盛岡変電所～No.6MH)	66	1	42	42	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノン ファーム設備	
221K	東長線(No.6MH～長田町変電所)	66	1	50	50	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
221M	221M線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
221N	221N線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
222A	高松線	66	2	158	79	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
222B	長田町線	66	2	57	31	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
223A	洪民線	66	2	116	76	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
223B	岩洞線	66	2	102	102	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
223C	223C線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
223D	巣子支線	66	2	116	116	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
223E	沼宮内線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
223F	好摩支線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
223G	柏台線	66	2	162	86	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
223H	223H線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
223J	松尾線	33	1	20	20	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
223K	北ノ又支線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
223M	下倉支線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
223N	223N線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
223P	223P線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
231A	東盛岡線	66	2	158	86	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
231B	仙北町支線	66	2	130	72	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
231C	231C線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
231D	米内線	66	2	64	32	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
231E	松園線	66	2	116	72	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
231F	四十四田支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
231G	231G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
232A	雫石線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
232B	岩手滝沢支線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
232C	御所支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
232D	田沢線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
232E	葛根田線	66	2	34	17	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
232F	232F線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
232G	232G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
233A	233A線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
233B	233B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
234A	都南線	66	2	212	121	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
234B	紫波線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
234C	矢巾支線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
234D	234D線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
234E	日詰線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
234G	234G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
234H	234H線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
234J	234J線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
234K	234K線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
234M	234M線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
234N	234N線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
241A	宮野目線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノン ファーム設備	
241B	花巻支線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
242A	飯豊線	66	2	116	76	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
242C	242C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
243A	柳原線	66	2	184	124	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
243B	東和西線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
243C	東和東線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
243D	附馬牛線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
243F	243F線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
243G	243G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
243H	入畑線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
243J	錦秋湖線	33	1	29	29	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
243K	猿ヶ石線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
243M	243M線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
244A	後藤野線	66	2	172	86	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
244B	244B線	66	2	116	116	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
244C	244C線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
244D	244D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
251A	川尻線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
251B	耳取支線	33	1	24	24	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
261A	水沢線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
261B	261B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
261C	岩谷堂線	66	2	86	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
261D	常盤支線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
261E	伊手線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
261F	江刺線	66	2	116	72	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
261G	六原線	66	2	178	113	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
261H	駒形線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
261J	胆沢川線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
261K	若柳支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
261M	261M線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
261N	261N線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
261P	261P線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
262A	相去線	66	2	180	102	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
262B	262B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
262C	大堤線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
262D	河原町支線	66	2	86	57	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
262E	262E線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
263A	263A線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
264A	264A線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
265A	265A線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
271A	日高線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
271B	山目支線	66	2	98	64	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
271C	271C線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
271D	271D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
271E	東福支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
271F	前沢支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノン ファーム設備	
272A	東山線	66	2	130	72	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
272B	平泉支線	66	2	94	52	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
272C	千厩線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
272D	藤沢支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
272E	272E線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
272F	272F線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
272G	272G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
272H	272H線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
273A	花泉線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
273C	沢支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
273D	273D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
273F	須川支線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
273G	273G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
274A	磐井川線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
274B	274B線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
281A	小本川線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
281B	久慈南線	66	2	116	72	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
281C	普代支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
281D	久慈北線	66	1	47	47	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
281E	281E線	66	1	49	49	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
281F	281F線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
281G	浅内線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
281H	岩泉線	33	1	10	10	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
281J	本銅線	33	1	9	9	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
281J	281J線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
281K	281K線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
281M	281M線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
281N	281N線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
282A	近内線	66	2	230	115	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
282B	東宮古線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
282C	宮釜線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
282D	282D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
282E	津軽石支線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
282F	山田支線	66	2	86	86	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
282G	大槌支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
282H	栗橋線	33	1	5	5	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
282J	橋野東線	33	1	5	5	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
282K	鶯の滝線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
282M	282M線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
283A	腹帯線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
283B	鈴久名線	66	1	21	21	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
283C	283C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
291A	下船渡線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
292A	第一大釜線	66	1	140	61	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
292B	第二大釜線	66	1			熱容量	-	0	-	-	-	-	-	-

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノン ファーム設備	
292C	第一立根支線	66	1	116	58	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
292D	第二立根支線	66	1			熱容量	-	0	-	-	-	-	-	-
292E	長岩支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ◇ ●	
292F	大平支線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ●	
292G	松倉B線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ●	
292H	遠野線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ●	
292J	松倉A線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ●	
292K	292K線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ◇ ●	
292M	釜平線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ●	
292N	第一住田線	66	1	58	58	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ●	
292P	第二住田線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ●	
292Q	292Q線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ◇ ●	
293A	293A線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ◇ ●	
294A	大高線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ●	
294B	高気線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	※1 ●	
133G	馬淵線	青森県を参照願います。												
133H	軽米支線	66	2	102	102	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
133J	133J線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
2Z01	竜ヶ森線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
2Z02	前森線	33	1	17	17	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
2Z03	安代線	33	1	17	17	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
2Z04	大迫線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
2Z05	大東線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
2Z06	折爪線	33	1	14	14	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●